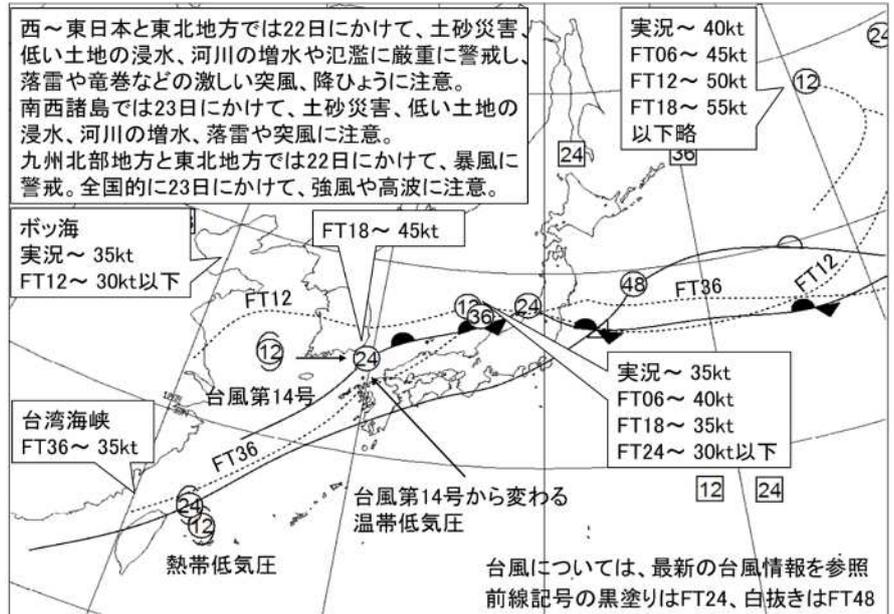


1. 実況上の着目点

① 低気圧が日本海にあって、東進。前線が、東シナ海から東北地方を通して日本のはるか東にのびている。前線や低気圧に向かって、東シナ海を北東に進む台風第14号周辺や太平洋高気圧の縁辺から下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となっており、対馬海峡周辺や北陸地方では雷を検知し1時間に30～50mmの激しい雨や非常に激しい雨を解析。また、西～北日本では、やや強い風が吹き、波が高くなっている所がある。



主要じょう乱解説図

② 熱帯低気圧が先島諸島付近にあって、北西進。沖縄の南では熱帯低気圧周辺の下層暖湿気の影響で、激しい雨を解析。また、南西諸島ではやや強い風が吹き、波が高くしている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の低気圧は、21日夜には北日本へ進み、その後不明瞭化する。1項①の台風は21日午後には前線に取り込まれ温帯低気圧化し東北東進、22日夜には日本の東へ進む。前線や低気圧に向かって、太平洋高気圧の縁辺を回る下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。西～東日本、東北地方では22日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。また、前線や低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、非常に強い風が吹き、波が高くなりしけとなる所がある。九州北部地方と東北地方では22日にかけて暴風に警戒。西～北日本では23日にかけて、強風や高波に注意。

② 1項②の熱帯低気圧は東シナ海を北西に進み、22日朝までに1項①の前線に取り込まれ不明瞭化する。南西諸島では熱帯低気圧周辺と1項①の前線に向かい流入する下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨が降り大雨となる所がある。また、気圧の傾きが大きくなり、風が強くなり、波が高くなりしけとなる所がある。南西諸島では23日にかけて、強風や高波、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風、急な強い雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

①雨量(06時からの24時間)：九州北部180、東北・北陸・中国・四国150、東海・九州南部100mm。②波浪(明日まで)：東北・九州北部5、北海道・関東・伊豆諸島・北陸・近畿・中国・沖縄4、東海・四国・奄美3m。③高潮(明日まで)：大潮の時期。西～北日本で注意報基準を超過し、西～東日本では警報基準に近づく所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

「大雨と雷及び突風に関する全般情報」を5時頃に発表予定。